

## 第四七回事業所訪問

こんにちはは健保組合です！

# 株式会社長太（市原市）

## の巻



昨年同様、千葉県では三月の声を聞いてから大雪が降りました。今年は暖冬といわれながら、局地的に寒波が猛威を奮っていたようです。時の経過は早いもので、「梅満開見ごろ」の便りが聞こえ、続いて桜の開花予想が発表されています。春本番はすぐそこです。

取材だったこの日は、朝からはつきりしない空模様で、雨が降ったりやんだりでしたが、その雨にぬれても、いままでのような冷たさはさほど感じられず、こんなところにも春の訪れを感じる今日このごろでした。

\* \* \*

三月十一日、事業所訪問の第四七回目としてお邪魔したのは、房総半島のほぼ中央に位置し、人口

二八万人を擁して、県内の市町村では面積がいちばん広い市原市に所在する株式会社長太でした。

市原市は、関東でも横浜市に次ぐ広さで、南北に長く、東西二・三・五km、南北三・五・九kmもあります。首都圏からのアクセスのよさとコンビニナートの街として、近年大きく発展したところですね。

市を南北に貫くように流れる養老川が育んだ豊かな自然環境、世界に名を轟かせる臨海企業群、史跡上総国分寺に代表される歴史的遺産など多彩な顔をもち、また、Jリーグ・ジェフユナイテッドのホームタウンとして全国に知られる魅力あふれる街です。さまざまな顔をもつ市原市のな

かで、私たちが伺った五井地区は、市の中心的役割を担っている所です。

## 社名「長太」の由来は「ミスマッチを武器に」という発想から

目的地に到着し「こんにちはは健保組合です！」とごあいさつすると、二階応接室に案内され、しばらくすると田中博常務（当健保組合の健康管理事業等推進委員）が「こんにちは、お世話になります」と入室され、多忙な時間を割いて今日の取材におつきあいくださいました。

社史や業務内容についてお話を伺いながら取材が始まりました。



田中博常務

長太は、昭和四十二年に産声を上げた、四〇年近くの歴史をもつ企業です。同社は設立当時から、主としてケミカル部門の輸送を行ってこられたそうです。

ご承知のとおりケミカルは、車両の特殊性に加えて、徹底した安全管理と品質管理の厳しさが強く要求されます。

安全衛生に始まり運行管理、自己啓発に至るまで、社員の方々に対する教育を徹底するシステムを社内構築され、無事故記録を日々更新しておられるとのことでした。

その成果として、平成十二年にISO9002、平成十五年にISO9001と国際規格を取得され、時代の要求に忠実に対応していく企業へと成長を遂げられました。現在までの道のりは決して平坦ではなく、第一次オイルショック時には構内の草むしりの続く日々など、たいへん厳しい時期もあったそうです。

しかしながら、アイディアとバイタリティー、加えて地道な営業活動で取引先を開拓しながら、盤

石な礎を築いてこられました。

顧客のニーズに<sup>こた</sup>えられるよう営業拠点も拡張され、本社のほかに鹿島・四日市・大阪・東京に営業所・事務所を構えられ、これらがネットワークとなって効率の良い物流システムを形成されているようでした。

私たちが取材したかったことの一つに、特徴ある社名がありました。

「社名「長太」の由来は……？」



徹底した安全衛生などのシステムにより、無事故記録を更新中

とお聞きすると、創業者が社長として招聘した方の親族に、関西方面で材木問屋を営まれていた方がいらつしやり、奮わなかった業績が、「長太」への社名変更を機に隆盛を極めたというおめでたい話にあやかっつて命名されたそうです。

「運送を生業とするわが社にミスマッチでは」とのことから社名変更も検討されたそうですが、「一度聞いたら忘れない」、「愛着がある」などなど存続を希望する声が多く、「ミスマッチを武器に」と、発想を逆転させて現在に至っているそうです。

見事に社名が社運を上げ、「長太企業」に発展されているとお見受けしたところです。

## 目標達成度を評価分析するのが同社のスタンス

「どのようでしたら取引先に対してよりよい運賃を要求できるのか……」。運送事業者の企業経営においてのテーマです。

田中常務は、このことについて「顧客の満足」、「小回りのきく会社」、「よい人材の確保、育成」、「安全への取り組み」、「ねばり強い交渉」などを挙げられ、目標達成のために全力で取り組む姿勢を強調されました。

各営業所ごとに目標を定め、その目標に向かって努力を惜しまず、目標の達成度を数字に表し評価分析する——これが同社のスタンスです。

ハードルが高ければ高いほど越えることは困難です。しかしながら、難しいテーマを自らに課すことにより切磋琢磨し、また、社員一丸となって目標に向かうことで生産性の向上や結束力につながっていることでしょう。

最後に、営業所開設のリーダーとして長く単身赴任をされてこられた田中常務が、「女房にはたいへん感謝している」とおっしゃった言葉が氏の人となりを表しているように、印象に残りました。

エネルギーシユで温厚な人柄のお陰で、笑い声が絶えなかった取材も時間となり、終了することに

なりました。

今回の取材では、同社が社員の方々とパートナー企業を大切にされる姿勢を十分うかがい知ることができ、「優しく心通じる企業」としてますます発展されることを確信し、私たちは帰路につきました。

長太の皆さん、ご協力ありがとうございました。

\* \* \*

これからの時期は、卒業や入学、就退職、転勤など……、人との出会いと別れがあちこちでみられ、そこにさまざまなドラマがあることでしょう。

桜の花と一緒に、新たな出発にエールを贈りましょう。

